

平成18年度当初予算 重点プログラム別概要

くらし14：海・山・川身近な自然の保全プログラム(生活排水処理緊急対策)

(主担当部：環境森林部)

- (1) 合併処理浄化槽整備重点促進事業
- (2) 農業集落排水整備重点促進事業

<プログラムの事業費>

(単位：千円)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	3か年計
当初計画	1,128,877	1,221,000	800,000	3,150,000程度
見直し後	996,928	1,033,232 (93,350)	646,984	2,677,144

注：「見直し後」の16年度は決算額、17年度は予算現額、18年度は当初予算額
17年度()は、16年度からの繰越額で予算現額の内数

<事業目標>

目標項目		平成16年度	平成17年度	平成18年度
(1) 合併処理浄化槽による生活排水処理施設整備率	目標値	25.8%	27.3%	28.9%
	実績値	26.1%	27.3%	
(2) 農業集落排水処理施設による生活排水処理施設整備率	目標値	3.7%	4.0%	4.2%
	実績値	3.7%	4.0%	

注：17年度実績値は1月末現在で把握できる見込み値

<進捗状況(現状と課題)>

- ・ 水質汚濁の主な要因は、生活排水であり、県民、市町、県が一体となった生活排水対策の推進が課題となっています。
- ・ 合併処理浄化槽の整備については、平成16年度、17年度とも概ね整備予定基数を満たし、順調に進捗しています。
- ・ 農業集落排水処理施設については、重点プログラム対象の6地区で目標完了年度に向けて着実な事業進捗を図っています。平成17年度末に3地区が完了の予定です。
- ・ 合併処理浄化槽については、設置後の点検等を適正に行うため、市町が浄化槽を設置し、維持管理も行う事業への取組を拡大する必要があります。

<平成18年度の取組方向>

- ・ 水質改善が必要な地域で、生活排水処理施設の整備率が低く、下水道処理施設での整備が見込まれない地域において、引き続き、市町等が行う合併処理浄化槽や農業集落排水処理施設の整備に対して重点的に支援し、生活排水処理施設の集中的な整備を促進します。

< 主な事業 >

合併処理浄化槽整備重点促進事業【18年度当初予算額 453,405千円】

水質改善が必要な地域で、生活排水処理施設の整備率が低く、下水道処理施設での整備が見込まれない地域において、市町が行う合併処理浄化槽の整備に対して重点的に支援し、生活排水処理施設の集中的な整備を促進します。

農業集落排水整備重点促進事業【18年度当初予算額 193,579千円】

生活排水処理施設の整備率が低く、かつ水質改善が特に必要な地域の農村部において、人家が比較的密集した地域を対象に、農業集落排水処理施設整備を行う市町に対して補助を行います。